

平成29年度12月
たつの市議会
一般質問

JR山陽本線橋上化計画 平成32年度に実現へ！

昨年末のたつの市議会において、永富議員は「JR竜野駅周辺整備事業」に関する質問を行い、その取り組みへの真偽を尋ねた。中でも揖保川地域を含めた整備計画に関しては効果が最大限に活きるよう早期の着手を要望しました。

JR竜野駅の周辺整備事業について



早期架け替えが求められる築90年が経過した揖保川鉄橋

市長は当選後の記者会見でJR竜野駅

周辺整備事業の道路整備は計画通り実施するが、駅の橋上化は、長年の懸案として残っている揖保川鉄橋の架け替え工事の結論を待つて行うため延期するとされています。

Q 駅の橋上化は計画通り特例債の活用により進める方が得策と考えのですが？

また、延期により竜野駅周辺の道路整備事業の効果が半減すると思われませんか？

A 竜野駅を中心とした周辺地域は、本市の立地適正化計画に掲げた都市機能誘導区域として位置付けており、本事業は、道路を含めた一體的な整備を進めていく方針でありその整備に合併特例債を活用することは有効な手段であると認識しております。一方、JR西日本は、将来負担となる人件費や維持管理等の理由から駅舎の整備に関して消極的な姿勢であり、平成25年から駅舎の橋上化に向け協議を重ねてきましたが、合意に至っていない状況であり、方針に相違があるが、早期合意に向けて引き続き粘り強く協議を進めていきたいと考えています。いずれにいたしましても本市としては、竜野駅を中心とした地域の賑わいと活気あふれるまちづくりの実現には、駅舎の橋上化は必要不可欠であると考えています。

Q 駅の橋上化に特例債の活用を！



皆聞く
抜本的解決を市長へ訴える

A **Q** 市長の考え方として、橋上化は揖保川鉄橋の架け替えの目途が立つまで当面見送るのだと解釈していたのですが？

JR西日本と早期に合意できるよう協議を進めていきます。

市民の声を力強く届けたい!!



永富議員は、市における竜野駅周辺整備の重要性を強く訴え、JR西日本が難色を示すのであれば、管理受託等を含めた粘り強い交渉を推し進め、早期解決を目指して欲しいと訴えました。

また揖保川鉄橋を改修・架け替えにより、揖保川を渡り終えた時点から、そのまま高架により横断して行けば、南北の交通の流れも良くなり、正條交差点並びに清水踏切の慢性的な渋滞も緩和されるでしょうし、馬路川の山陽本線橋での川幅の増幅が可能となり、片島地域を含め馬路川流域の水害も回避できるので、国とJRの双方に市からもっと強く要望し、市民の声を反映して欲しいとも訴えました。

今後も、折に触れ地元

揖保川地域の声はもとより市民の

声を、たつの市の活性化

に向けて届

けていきますので何卒よろしくご

支援の程をお願い致します。



A **Q** 揖保川鉄橋の架け替え工事の結論はいつ頃でると考えておられるのか？

JR山陽本線の揖保川鉄橋は、上り線が大正10年、下り線が大正14年に建設され、上り下り線とも90年以上経過しております。JR西日本に確認したところ定期的な検査、維持管理を行っているため、現時点では揖保川鉄橋の改修計画はないとの回答を得ています。しかし、災害等により揖保川鉄橋の架け替えの可能性も否定できないことから、現在国土交通省及びJR西日本と調整を行っており、早期に結論を出したいと考えています。

実施する意思は充分にもっています。